

第71回 日本PTA全国研究大会広島大会 第3分科会報告

北海道PTA連合会副会長 廣瀬 堅一

【基調講演】地域とともにある学校 ～シビックプライドによる架橋～ 山川肖美 氏

『地域をよりよくするために貢献しようとする心意気』

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を進めていくなかで、地域との連携は欠かせないもの。保護者や地域を含めて、学校やPTAに協力したいと考えている人は一定数必ずいるはずで、人の繋がり広がり、輪がどんどん大きくなっていく。学校、保護者、地域が手を組んで子どもたちがより良い環境で育つ、それには学校がより良く機能するために、周りが手を組んで仲良く進めていく必要**があります**。ゴールや正解はなく、常にチャレンジして前を向いていく事が大切なのかなど。子どもたちが笑顔で学校に通えるためには、学校の先生方々、保護者・地域の方々が笑顔で見守り、優しく背中をおしてあげないとならないと思います。パネルディスカッションの方では、倉吉市立関金小学校の「牛飼体験～生命の大切さを学ぶ場～」が、とても印象的でした。



第71回 日本PTA全国研究大会広島大会 全体会報告

北海道PTA連合会副会長 若林 徹

8月26日全体会が広島県立総合体育館「広島グリーンアリーナ」にて、約7000人が参加する中、アトラクション・開会行事・記念講演・閉会行事の4部構成で開催されました。アトラクションでは「広島ジュニアマリンバアンサンブル」の子どもたちによる参加者を魅了するような華麗な合奏が行われ、全体会参加者の期待感は醸成されていきました。開会行事では、日本PTA全国協議会後藤会長の挨拶をはじめ、伊藤孝江文部科学大臣政務官や、広島県副知事による祝辞を頂戴し、多くの方々の祝電が披露され全国大会の規模の大きさやPTAに対する関係各所からの期待を改めて感じる事ができました。記念講演は人工知能研究者で「妻のトリセツ」等の著者でもある黒川伊保子氏による「心のトリセツ」と題した、「人間の脳を電子装置と見た場合にどのような装置なのか」の観点からAIが発達していく現代において、子どもたちには「発想力や対話力」が求められる事等、興味深い内容を飽きさせない軽快なトークでお話し頂きました。その後、閉会行事では謝辞、次回開催地である川崎市のPRが行われ閉会となりました。

